

☆老人福祉センターは市内在住の60歳以上の皆さんがご利用できる施設です☆

きらめき 平成30年 5月号



社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
京都市山科中央老人福祉センター
〒607-8344 京都市山科区西野大手先町 2-1
山科総合福祉会館 2階
【電話】501-0242 【FAX】501-0340
【E-mail】r-yamashinachuo@kcs.jp
【ホームページ】<http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/yamashinachuo.html>
【開所日・時間】月曜日～土曜日(祝日除く)・9時～17時
4月20日発行(毎月第3金曜日発行)

うたごえサロン

日時：5月19日(土)

午後1時30分～3時

ピアノの生伴奏で みんなで一緒に歌います♪

演奏：当センターコーラス講師

歌唱案内 糸井 欣治さん

ピアノ伴奏 吉池 由紀子さん

定員：70名

申込：5月7日(月)～11日(金)

※多数の場合抽選

ふるさと山科を学ぼう会

日時：5月8日・22日 6月12日・26日
7月10日・24日 8月14日・28日
9月11日・25日 10月9日・23日
11月13日・27日 12月11日

※いずれも第2・4火曜日 午後1時30分～3時30分

山科検定テキストとなっている『区民が選んだ魅力を訪ねて京都山科 東西南北』を基本テキストにしながら、毎回テーマを設定して、歌・講義・DVD視聴・練習問題等を織り交ぜた学習会です。

☆5月のテーマは、「東西南北」・山科疏水・旧三条通・三条通です。

講師：ふるさとの会

事務局長 浅井 定雄さん(筆名 鏡山次郎)

又は ふるさとの会メンバー

定員：15名

申込方法：1ヵ月ごとに申込必要。

5月8日・22日分の申込みは、

4月23日(月)～ ※先着順

骨と健康のお話

～骨粗しょう症と骨折～

日時：5月17日(木)

午後1時30分～2時30分

講師：相馬病院 理事長

相馬 靖氏

定員：30名

申込：4月25日(水)～ ※先着順

男のための 女のための筋トレ体操!

日時：5月31日(木)

男性：午前9時15分～10時30分

女性：午前10時40分～11時55分

指導：飯田 利正さん

定員：男性20名 女性20名

持ち物：タオル、マット又はバスタオル、飲み物

申込：5月17日(木)～ ※先着順

グルーデコ講座

日時：5月18日(金)

午後1時30分～2時30分

キラキラ素敵なネックレスをつくります♪

講師：林 むつみさん

費用：800円

定員：10名

申込：4月27日(金)～

※先着順



(詳細はセンター設置のポスターをご覧ください。)

フレグランスフラワーづくり

日時：5月19日（土）

①午後1時～2時

②午後2時30分～3時30分

お好みの造花と柑橘系のアロマオイルでフレグランスフラワーを作りましょう♪

講師：児玉 享子さん

費用：700円

定員：①7名 ②7名

持ち物：はさみ、ペットボトル（小・オイル持ち帰り用）

申込：5月1日（火）～ ※先着順



各催しの申込方法 （日曜・祝日は休所）

申込み期間の午前9時から午後5時までに本人が来所にて受付。（FAX・代理人申込不可）

世話人会のお知らせ

日時：5月30日（水）

午後1時30分～2時30分

集会室

※同好会数が増えたため、各同好会 2名までの参加とさせていただきます。

「センター利用者登録」の手続きを 事務所にてお願いします。



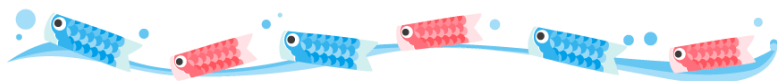
市内老人福祉センターでは利用される皆さんに、緊急時の連絡に使用するため「京都市老人福祉センター 利用者カード」を発行しています。（利用者カードは市内共通）

【新規登録】初めて老人福祉センターをご利用の方

- 「京都市老人福祉センター利用者カード」を発行しますので、事務所にお申し出下さい。

【更新の手続き】既にカードをお持ち方

- 30年度更新欄にセンター印を押印します。
※複数の老人福祉センターを利用されている方は、全てのセンターで手続きしてください。



新任のあいさつ

新職員 松島 祥子

皆様はじめまして。この4月から西京老人福祉センターより参りました松島と申します。

皆様とともにセンターを盛り上げていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

退任のあいさつ

前職員 茅原 太郎

「楽しかった！！」山科中央に在籍した4年間で振り返ると楽しかった思い出ばかり浮かびます。元気がない時に「元気がないやん！大丈夫？」と心配していただき、嬉しかったです。皆様元気にお過ごしください。太郎も元気に頑張ります！山科の日々に感謝！

Breeze(10)

新年度が始まり、やまちゅう老センの利用者の方々にも新しいメンバーが加わり、皆さんの楽しげな笑い声が響いてきます。

昨年4月、「老セン事業の見直し」について、利用者の方々から一定の理解を示されているという認識のもとセンターに着任してきましたが、教養教室事業の廃止や自主活動事業（同好会）への転換促進等々に関する利用者への周知は十分とは言えず、利用形態の様々な変化を巡って、所轄組織に直接苦情を訴える方も生じ、重い気分の毎日が続きました。そうした中、事業運営にあたり良き理解者となってくださったサポーターさん、そして一丸となり取り組んでくれた職員の存在は大きな心の支えとなりました。

そして今年度、懸案となっていた「卓球のつどい」と各教室事業は世話人の方々のご尽力もあってほぼ順調に同好会へ移行し、それぞれスタートを切ることができました。

これからは、元気なセンター利用者の方々から支援を必要とされる高齢者サービスの担い手として一層活躍していただけるよう、さらなる取り組みを進めていきたいと考えています。

最後に、この度の人事異動に伴い、長らく在籍した茅原君（たろーちゃん）がケアワーカーとして旅立ち、後任として松島さんが着任しました。事務所は女性職員パワー炸裂？です。「何かいいことありそうな」やまちゅう老センを目指し引き続き頑張りますので、よろしくお願いいたします。